

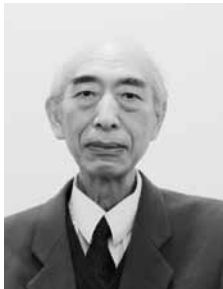
自治組織のリーダー 本年度区長紹介

市内 83 区の区長がそれぞれ選出されました。各地域の区長と本年度の市区長会役員の皆さんを紹介します。（敬称略）

市区長会役員



副会長（会計）
はやし のぶやす
林 順康
（穂高地域区長会長）



副会長（会長代理）
たきざわ きよし
瀧澤 清志
（明科地域区長会長）



会 長
なかまき たかゆき
中楨 卓幸
（豊科地域区長会長）



副会長（事務長）
まるやま ゆきひろ
丸山 行宏
（堀金地域区長会長）



副会長
おおくぼ よしひろ
大久保 吉啓
（三郷地域区長会長）

市内 83 区の区長

豊科地域		光	内 川 幸 彦	柏 矢 町	仁 科 清 司	上 堀	土 田 貞 男
上 鳥 羽	中 野 善 計	桜 坂	淡 谷 隆	島 新 田	寺 嶋 孝 夫	中 堀	矢 淵 一 良
下 鳥 羽	大 原 一 人	穂高地域		青木花見	高 橋 良 光	下 堀	中 村 啓 三
本 村	小 林 廣 人	矢 原	丸 山 隆	狐 島	赤 羽 正	扇 町	長 瀬 敏 雄
吉 野	平 林 栄 司	白 金	戸 澤 和 人	三郷地域		小田多井	丸 山 行 宏
成 相	藤 原 理 康	等々力	望 月 章	北 小 倉	古 屋 和 明	田 尻	大 竹 啓 正
新 田	黒 岩 一 雄	等々力町	平 林 喜久男	南 小 倉	松 岡 俊 行	田 多 井	猿 田 正
寺 所	岡 村 公 夫	穂高町	白 澤 弘	東 小 倉	二 村 正 文	明科地域	
踏 入	下 里 秀 人	穂 高	保 尊 利 生	室 町	中 嶋 正 美	大 足	瀧 澤 清 志
細 萱	森 岡 茂 美	橋 爪	胡 桃 信	野 沢	中 平 忠 久	光	宮 嶋 勝 郎
重 柳	村 上 広 志	耳 塚	千 國 博 司	上 長 尾	二 木 範 雄	宮 中	八 木 元 樹
真々部	中 楨 卓 幸	富 田	遠 藤 正 志	下 長 尾	諸 星 秀 雄	町	宮 下 高 朗
たつみ原	伊 藤 宏 子	豊 里	二 村 誠 一	楡	千 村 清	明 科	草 深 重 門
飯 田	中 野 孝	小 岩 嶽	伊 藤 彰 一	住 吉	岩 月 一 雄	潮	青 木 武 良
下 飯 田	佐 藤 鍊 二	嵩 下	横 澤 昌 幸	七日市場	黒 岩 誠 司	潮 沢	隠 岐 俊 一
中 曾 根	宮 澤 辰 幸	新 屋	林 順 康	一日市場	佐々木 征 男	木 戸	矢 口 昭 生
熊 倉	中 島 義 朋	古 厩	小 林 基 治	二 木	大久保 吉 啓	上 生 野	望 月 敏 嗣
アルプス	百 瀬 陽 子	立 足	内 山 和 明	及 木	鍋 田 実	上 押 野	平 林 登
徳 治 郎	高 橋 茂	柏 原	望 月 穩 照	中 萱	宮 崎 和 夫	下 押 野	丸 山 憲 治
田 沢	今 村 健 二	久 保 田	望 月 剛	堀金地域		塩 川 原	真 嶋 昭 夫
小 瀬 幅	宮 下 善 美	塚 原	福 住 修	岩 原	田 口 哲 邦	荻 原	小 林 隆 夫
大口沢	市 川 良 治	牧	宮 島 克 行	倉 田	栗 原 垂 仁	南 陸 郷	幅 明 洋

園地域づくり課まちづくり推進係 ☎71・2494 ☎72・3176

指定避難所運営マニュアルを策定

指定避難所の主体的な運営にご協力を

指定避難所が開設された時に、避難者が自主的に取るべき行動や避難所の在り方をまとめたマニュアルが完成しました。事前に内容を把握いただき、防災訓練に活用するなど、災害発生時には迅速に避難所運営が行えるようにご協力をお願いします。

園危機管理課危機管理担当 ☎ 71・2119 Fax72・6739

避難所は「避難者自身による運営」が原則

災害の規模が大きいほど行政や警察・消防といった公的機関も同じように被災し、被災状況の収集や災害対応などにより、避難所に十分な人員を派遣できなかったことが過去の事例から報告されています。

災害対策本部では、指定避難所の開設を決定し、準備を整えますが、これらの機関のみに頼った災害対応には限界があります。

災害時には、市民一人ひとりの「自助」と地域の「共助」が必要不可欠となります。マニュアルを事前に確認し、家族や地域でいつ起こるかわからない災害に備えましょう。

マニュアルの入手方法

マニュアルは、危機管理課（2階東側窓口）または市ホームページから入手できます。



市 HP は
こちら



用語解説

「指定緊急避難場所」と「指定避難所」

災害の種類や災害時の時間経過によって、避難する場所・施設は異なります。市防災マップを参考に災害時の対応を確認しておきましょう。

指定緊急避難場所



（例）

名称	災害種別ごとの適否		
	地震	洪水	土砂災害
〇〇地区公民館	○	○	○
●●公園	○	×	×

指定避難所



災害により住宅を失ったなどの被害者が、一定期間の避難生活を送る施設です。指定避難所の開設は、災害の規模や避難者数、建物の安全性などを総合的に勘案し、災害対策本部が決定しますが、開設までには発災から2～3日程度かかる場合があります。

水による災害・事故に注意しましょう

夏は降雨による災害や水難事故が多発する時季です。水難事故は他の事故に比べ死亡率が高いのが特徴です。安全に過ごすために、次のことに注意しましょう。

- ▷防災マップを確認し、危険個所や最寄りの避難場所を把握する。
- ▷非常持出品を準備する。
- ▷雨風が強い時に水辺に近づかない。
- ▷子どもの水遊びには大人が付き添い、子どもから目を離さない。
- ▷水辺近くでは救命胴衣（ライフジャケット）を積極的に着用する。

●溺れた人を見つけたときは…飛び込まずに助けを呼び、119 番通報（海では 118 番）後、陸から救出を試みましょう。

6 月は土砂災害防止月間～みんなで防ごう土砂災害～

土砂災害に対する理解を深め、土砂災害による人命・財産の被害防止・軽減に努めましょう。この機会に「市防災マップ」を確認し、家族や職場で災害時の対応を話し合しましょう。